

あいちデジタルアイランドプロジェクト推進事業 実証成果の発信

実施報告書

実施期間：2025年5月28日～2026年3月25日
受託事業者名 株式会社電通名鉄コミュニケーションズ

2026年3月25日

目次

1.事業概要	2
2.事業全体の実施内容とスケジュール	3
3.あいちロボフェスへの出展	4～7
4.成果発表イベントへの出展	8～11
5.メッセナゴヤ2025への出展	12～25
6.出展企業との連携・運営	26
7.PR業務	27～32
8.総括	33

実施概要

本事業は、愛知県が推進する「あいちデジタルアイランドプロジェクト（あいちDI）」において実施された先端デジタル技術の実証成果について、展示会およびイベントを通じて広く発信し、プロジェクトの認知度向上および新規参画促進を図ることを目的として実施したものである。

展示会出展、PR制作物の制作・配布、出展企業との連絡調整、設営・運営管理を一体的に実施し、実証成果の可視化および体感機会の創出を行った。

これまであいちDIにおいて蓄積された実証成果を整理し、来場者が具体的な活用イメージを持てる形で提示することを目的とした。

特に以下の効果を目指した。

- ・先端デジタル技術の認知度向上
- ・県内における技術普及の加速
- ・企業間連携および新規商談機会の創出
- ・あいちDIへの新規参加企業・団体の拡大

ターゲットは、県内外企業、スタートアップ、空港周辺事業者、ロボット・AI分野関係者、学生等とした。

実施内容の全体像

本事業では以下を実施した。

1. 展示会・イベント出展
あいちロボフェス・成果発表イベント
メッセナゴヤ2025への出展
2. PR業務
・愛称、ロゴ、キービジュアル制作
・チラシ、リーフレット、パネル、ノベルティ制作
3. 出展企業との連絡調整
4. 設営・管理・撤去業務
5. アンケートによる効果把握

年間スケジュール

2025年5月～9月：企画設計・制作準備
 2025年10月：出展準備・調整
 2025年11月：メッセナゴヤ2025出展
 2025年12月：あいちロボフェス出展
 2026年3月：成果発表イベントへの出展
 2026年3月：報告書作成

出展イベント	開催日	会場	位置づけ
メッセナゴヤ2025	2025年11月5日～7日	ポートメッセなごや	企業向け・ビジネス創出
あいちロボフェス)	2025年12月12日～14日	Aichi Sky Expo	技術体験・認知拡大
成果発表イベント	2026年3月18日	中日ビル	実証成果の集約・発信

あいちロボフェス開催概要

World Robot Summit 2025 AICHI サイドイベント「あいちロボフェス」



名称	あいちロボフェス(World Robot Summit 2025 AICHI サイドイベント)
会期	2025年12月12日(金)~14日(日) 10:00~17:00(14日のみ16:30)
会場	Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場) ホールC・D
入場料	無し
主催	愛知県
搬入・設営	2025年12月11日(木)
撤去・搬出	2025年12月14日(日)17時~20時

【参考】World Robot Summit 2025

World Robot Summit (WRS) とは、ロボットの社会実装や研究開発の加速を目的とした、国際的なロボット複合イベント。

課題解決に向けた新たなイノベーションの創出を目指し、様々なイベントを開催。

イベントの中心となる競技会では、最先端のロボット技術やソリューションを競うために、世界中から参加チームが集結。

愛知県においては、「モノづくりロボットチャレンジ」と World Robot Expo (展示会) が実施。
愛知県は、WRSの会場使用料の負担及び来場促進広報を担う。



〔主催 / WRS実行委員会 (愛知県も委員として参画)
共催 / 経済産業省〕

出展概要

- 出展：2コマ
- 展示：パネル展示／「あいちDI」の事業概要、実証事業の紹介、映像展示／プロジェクト紹介映像

あいちロボフェス会場図

あいちデジタルアイランドブース



あいちデジタルアイランドプロジェクトでは、近未来の事業やサービスを先行的に実用化することを目指し、オープンイノベーションを通じた実証実験や伴走支援、エリア内企業とテック企業・スタートアップのマッチング等を支援しています。ブースでは、本プロジェクトでの取組内容をご紹介します。

【対象】
全員

【実施日】
12/12(金)
12/13(土)
12/14(日)

※一部休止時間がある場合があります。

愛知県（あいちデジタルアイランドプロジェクト）



< 来場者数／ツール配布数 >

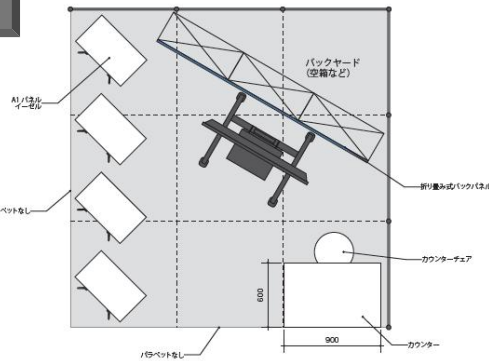
開催日	天気	来場者数	チラシ	リーフレット	クリアファイル
12月12日(金)	晴れ	1,764名	3部	3部	3部
12月13日(土)	晴れ	5,166名	193部	163部	193部
12月14日(日)	晴れ	5,904名	154部	364部	154部
3日間合計		12,834名	350部	530部	350部

※12日（金）は関係者を対象として開催

3. あいちロボフェスへの出展

あいちデジタルアイランドプロジェクト推進事業

あいちDIブース平面図／立面図



■折り畳み式バックパネル W2365 X H2365



■イーゼル

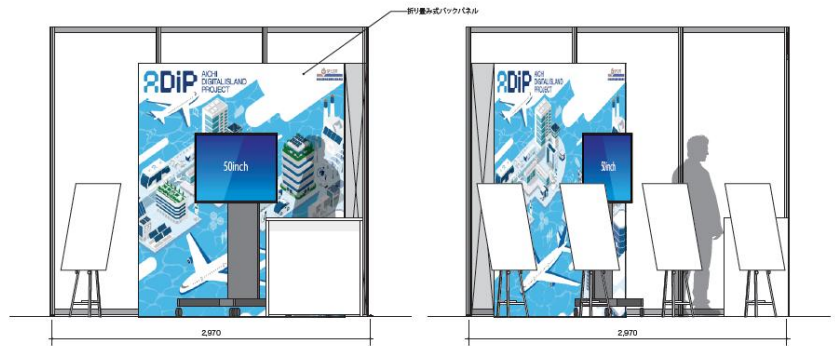
10270041



イーゼル

- W580×H1,500mm
- 適応パネルサイズ:W970×H1,303mm
- 質量:2.4kg
- 1D 3600 1W 7200

■床・ステージ パンチカーペット CALTEX2



記録写真



所感

多様な来場者があいちDIブースを訪れ、展示内容に対する積極的な関心が確認された。

来場者の属性は、県内外企業関係者、自治体関係者、学生、一般来場者等に及び、幅広い層への情報発信が実現した。

来場者の中には、従来プロジェクトの存在を認知していなかったものの、展示説明を受ける過程で取組内容への関心を高める事例が多数見られた。

次世代層への認知拡大が図られ、将来的な参画候補層の形成につながったと考えられる。

PR制作物の配布により、イベント終了後も継続的な情報接触が可能となり、参加検討の契機として機能した。

ノベルティ配布はプロジェクト名の記憶定着を促進し、認知向上に寄与したと考えられる。

成果発表イベント開催概要



名称	AICHI INNOVATION CHALLENGE
会期	2026.3.18(WED)11:00-19:00
会場	中日ホール&カンファレンス
入場料	無し
主催	愛知県
搬入・設営	2026年3月18日 9:30～10:30
撤去・搬出	2026年3月18日 19:00～20:00

世界をリードしてきた自動車産業を抱える愛知県。
その強みを次の時代へつなげるために、
産業構造の変化や地域・社会の課題に正面から挑む必要があります。

この1年、スタートアップ、大企業や中堅中小企業、自治体、金融機関等 —
多様なプレイヤーが交わり、それぞれの事業を通じて本気の挑戦が始まっています。
AICHI INNOVATION CHALLENGE 2026は、その軌跡を結集し、
未来へとつなぐ合同DEMODAYカンファレンスです。

成果発表やセッション、展示、交流を通して、
次の産業・次の社会を生み出す共創の灯火を広げていきます。

出展概要

<出展各事業>



AICHI CO-CREATION
STARTUP PROGRAM 2025



スタまち ースタートアップと自治体で挑む、未来のまちづくりー



A-IDEA



愛知自動車サプライヤー
BUSINESS CREATION



TECH
MEETS



AICHI NEXT UNICORN LEAGUE

【会場全体図】



メイン会場



オープニング、基調講演、各事業の成果発表を実施する中心会場。
約200席の観覧席を配置。

マッチング会場



・自治体 × 民間企業による個別面談・マッチングを実施。
(10団体程度の自治体ブース&マッチングを実施想定)

展示ブース



各案件の採択企業、スタートアップ等による展示出展を実施。
計60社程度を想定。

※1ブース: w1200程度。
ブース仕様+社名版を事務局にて用意。

スケジュール

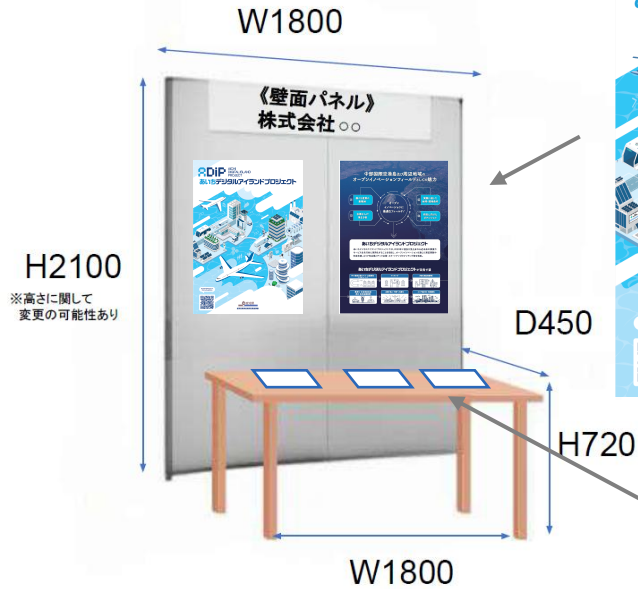
09:30 ブース出展者準備開始
11:00 オープニング開始
19:00 全コンテンツ終了
19:00 撤去作業開始
20:00 完全撤収

<来場者数／ツール配布数>

開催日	天気	来場者数	チラシ	リーフレット	クリアファイル
3月18日(水)	晴れのち雨	684名	50部	20部	50部

4.成果発表イベントへの出展

あいちDIブース平面図／立面図



A1パネル2枚



チラシ リーフレット クリアファイル

記録写真



所感

AICHI INNOVATION CHALLENGE 2026は、スタートアップ、大企業、中小企業、自治体、金融機関等、多様なプレイヤーが参画する共創型のカンファレンスであり、産業構造の変化に対応する新たな取組が集約された場であった。

当ブースには、プロジェクトに関係する企業関係者を中心に、多くの来場者が立ち寄り、実証事業の内容や取組に対して関心を示す様子が見られた。

特に、空港島をフィールドとした実証環境や、先端デジタル技術を活用した取組について、具体的な質問や意見交換が行われた。

また、出展内容を通じて、来場者が自社との関連性や連携可能性を意識しながら話を進める場面も確認された。

展示パネルや配布資料をもとに、事業の概要だけでなく、実証の進め方や参画方法について踏み込んだ対話が行われた。

午後に実施されたステージプレゼンテーション後には、ブースへの来訪者が増加し、発表内容に興味を持った来場者が集中して訪れる状況が見られた。

プレゼンテーションを通じてプロジェクトの全体像が伝わったことで、より具体的な内容を確認するための来訪につながったと考えられる。

その結果、ブース周辺には一定の滞留が生まれ、継続的な説明および質疑対応が行われた。来場者との対話を通じて、プロジェクトへの理解促進および関心喚起が図られた。

本出展により、あいちデジタルアイランドプロジェクトの取組が、共創を志向するプレイヤーに対して効果的に伝達された。

また、今後の連携や参画につながる可能性を有する接点の創出が確認された。

メッセナゴヤ2025開催概要

名称	日本最大級異業種交流展示会「メッセナゴヤ2025」
会期	2025年11月5日(水) ～ 7日(金)
会場	ポートメッセなごや 第1展示館(名古屋港金城ふ頭)
時間	10:00～17:00
オンライン	2025年10月27日(月) 10:00 ～ 11月28日(金) 17:00
入場料	無料 (但し、事前来場登録必要)
主催	メッセナゴヤ実行委員会 構成／愛知県、名古屋市、名古屋商工会議所
後援	中部経済産業局、一般財団法人地球産業文化研究所
協力	中部経済新聞社、中日新聞社
開催規模	出展者数:800社・団体、1,000小間 来場者数:50,000人
搬入・設営	2025年11月4日(火)13時～18時
撤去・搬出	2025年11月7日(金)17時～20時

<来場者数／ツール配布数>

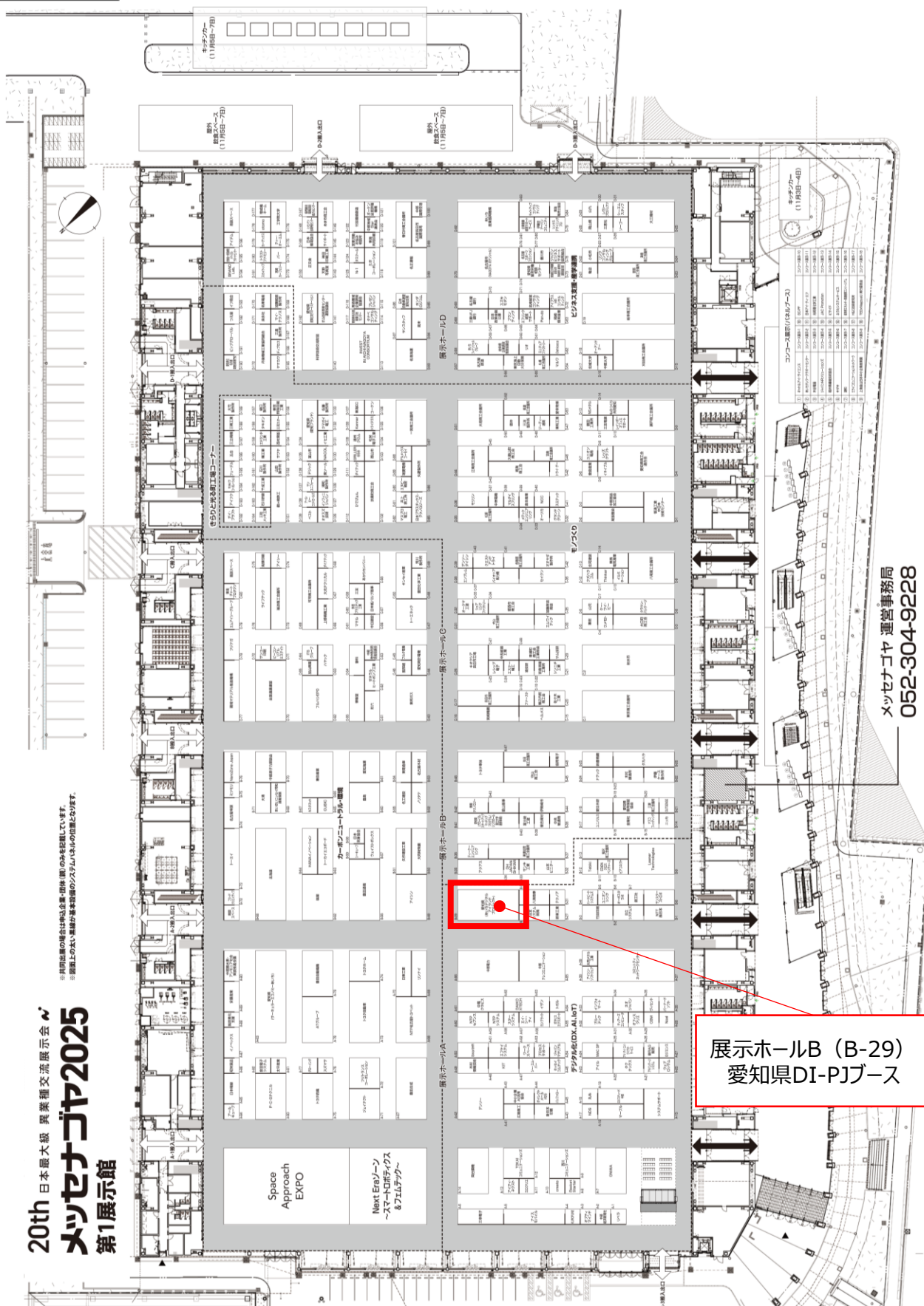
開催日	天気	来場者数	チラシ	リーフレット	クリアファイル
11月5日(水)	曇り	16,349名	420部	150部	420部
11月6日(木)	晴れ	16,860名	300部	40部	115部
11月7日(金)	晴れ	17,496名	306部	44部	50部
3日間合計		50,705名	1,026部	234部	585部

5.メッセナゴヤ2025への出展

全体スケジュール

TIME	11月2日(日)	11月3日(月・祝)	11月4日(火)	11月5日(水)	11月6日(木)	11月7日(金)
8:00		8:00~19:00	8:00~19:00			
		出展者 搬入・設営	出展者 搬入・設営	▼8:30開館／入館	▼8:30開館／入館	▼8:30開館／入館
:30		※あいちDIブースの 搬入・設営 無し	8:30~12:00 あいちDIブース 基礎小間設営	8:30~10:00	8:30~10:00	8:30~10:00
9:00				出展準備	出展準備	出展準備
				9:45朝礼	9:45朝礼	9:45朝礼
:30						
10:00				10:00~17:00	10:00~17:00	10:00~17:00
:30						
11:00						
:30						
12:00						
:30						
13:00	13:00~17:00		13:00~18:00	20th 日本館大館 商業種文芸展示会	20th 日本館大館 商業種文芸展示会	20th 日本館大館 商業種文芸展示会
	大小間 出展者 搬入・設営		あいちDIブース 出展者設営	メッセナゴヤ2025	メッセナゴヤ2025	メッセナゴヤ2025
:30				【1日目】	【2日目】	【3日目】
14:00						
:30						
15:00	※あいちDIブースの 搬入・設営 無し	15:00(予定) 通電開始	15:00以降 館内への車両 乗入れ禁止			
:30						
16:00						
:30						
17:00						17:00~22:00
						出展者撤去 ※17:30通電終了
:30						
18:00				▼18:00退館	▼18:00退館	
				▲18:00以降の作業は 要申請(有料)	▲18:00以降の作業は 要申請(有料)	
:30						
19:00						

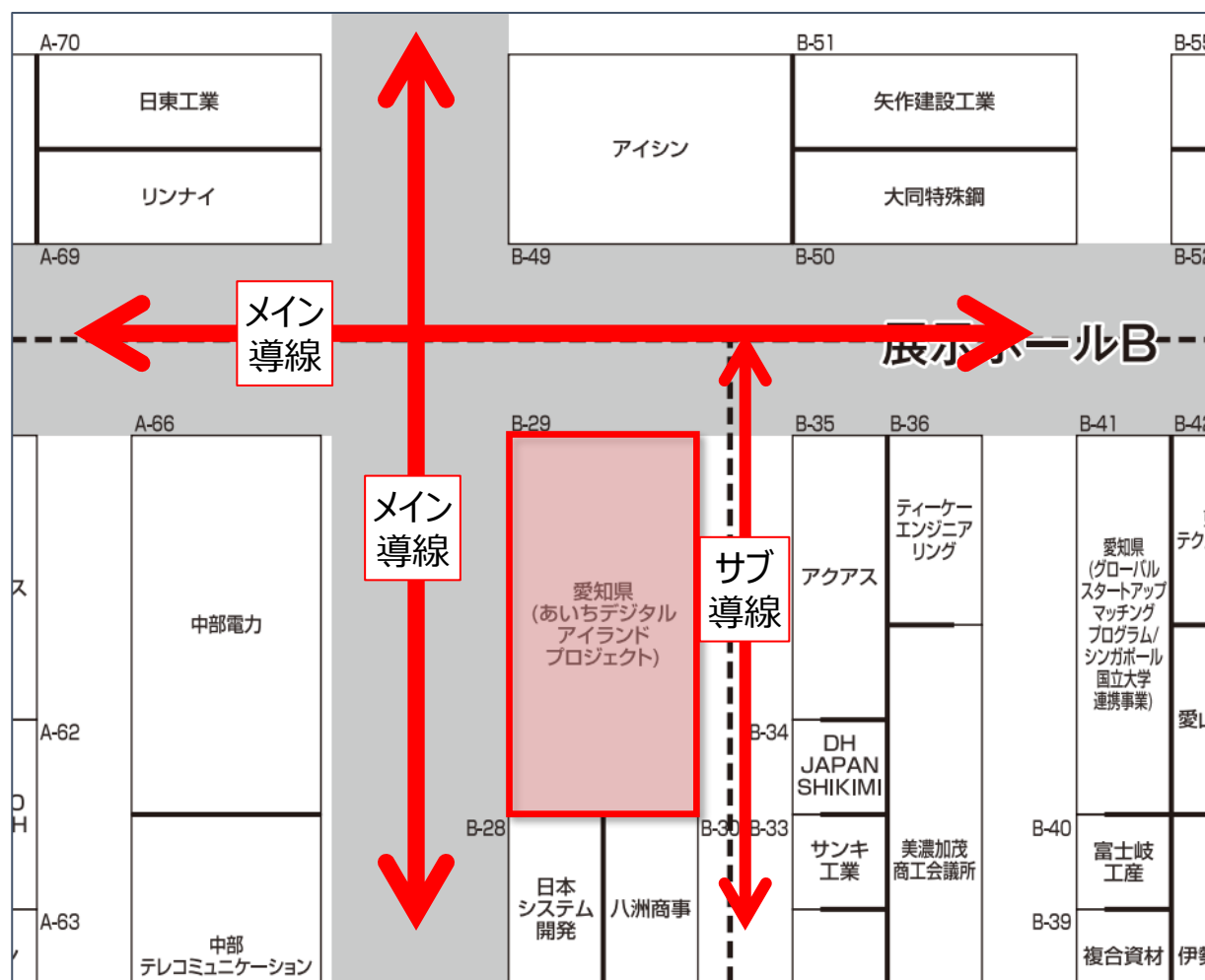
会場全体図



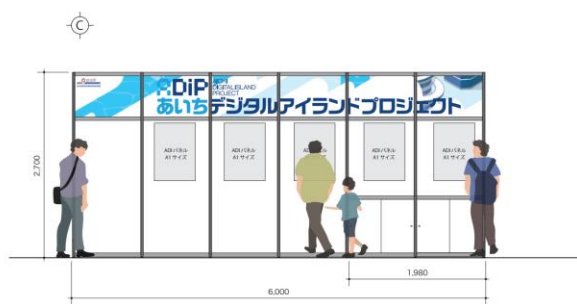
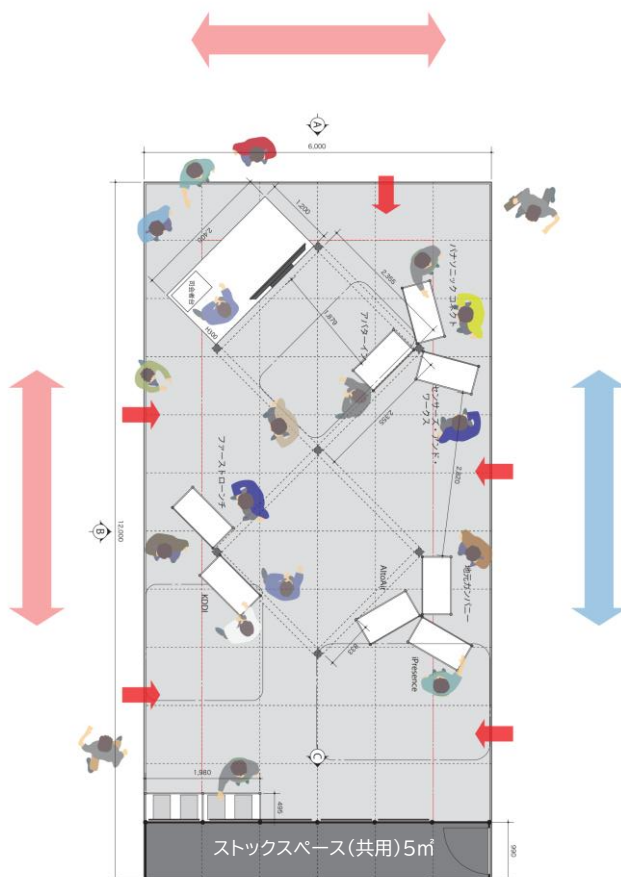
あいちDIブース周辺図



展示ホールB (B-29) 愛知県DI-PJブース

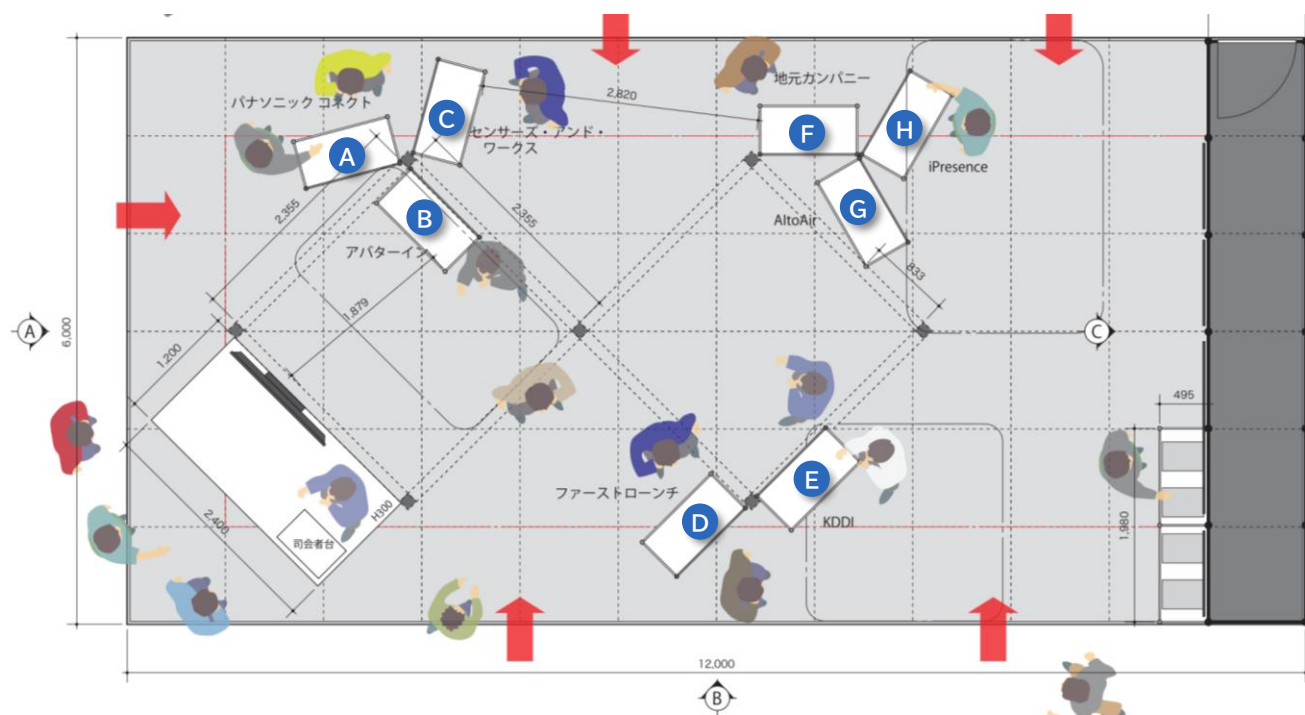


あいちDIブース平面図／立面図

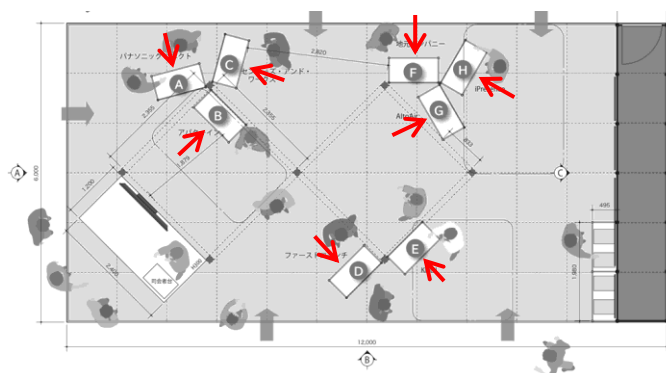


5.メッセナゴヤ2025への出展

あいちDIブース出展者位置図



記号	出展企業名
A	パナソニック コネクト
B	avatarin
C	センサーズ・アンド・ワークス
D	ファーストローンチ
E	KDDI
F	地元カンパニー ※11/7不在
G	AitoAir
H	iPresence



→ 側が各ブースの正面となります

5.メッセナゴヤ2025への出展

あいちDIブースステージスケジュール

【ステージについて】

- MC1名を配置
- ステージ仕様／W2,700×D900×H300
- ステージ備品／60インチモニター、司会台 ※PC、映像ソフト、実機などは各社の持込

TIME	会期	11月5日(水)	11月6日(木)	11月7日(金)
9:00				
:30				
10:00				
:30		センサーズ・アンド・ワークス	地元カンパニー	KDDI
11:00		KDDI	センサーズ・アンド・ワークス	ファーストローンチ
:30		ファーストローンチ	KDDI	
12:00				
:30				
13:00		地元カンパニー	ファーストローンチ	センサーズ・アンド・ワークス
:30		KDDIセミナー	KDDIセミナー	KDDIセミナー
14:00		センサーズ・アンド・ワークス	地元カンパニー	KDDI
:30		KDDI	センサーズ・アンド・ワークス	ファーストローンチ
15:00		ファーストローンチ	KDDI	センサーズ・アンド・ワークス
:30		地元カンパニー	ファーストローンチ	
16:00				

あいちDIブースオンラインブース

- 展開場所:メッセナゴヤ2025サイト内
- 期間:10月27日～11月28日
- 公開内容:チラシ・あいちデジタルアイランド詳細資料・出展者概要・ステージ概要

ブースコンセプト

あいちDIの実証成果を分かりやすく伝えるため、展示とステージを組み合わせた構成とした。

ブースは3面開放型とし、中央通路を設けることで来場者の回遊性を確保した。出展企業による実機・パネル展示に加え、プロジェクト全体を紹介するエリアを設置した。

また、通路に面した位置でミニプレゼンテーションやデモを実施し、来場者への情報発信を行った。

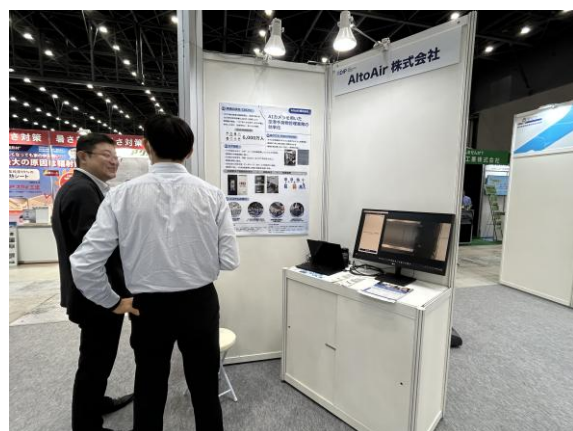
これにより、来場者が技術内容と活用イメージを短時間で理解できる構成とした。

記録写真

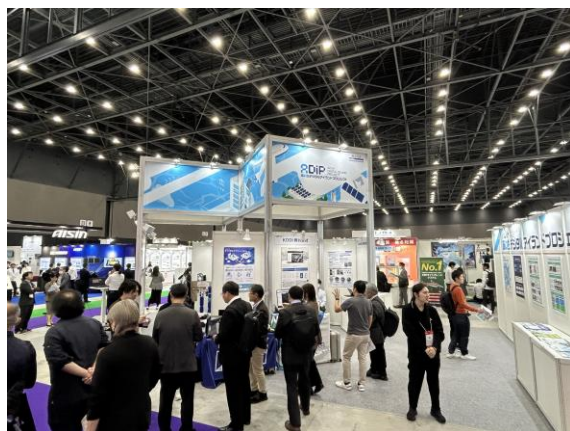
■ブース全景



■出展者



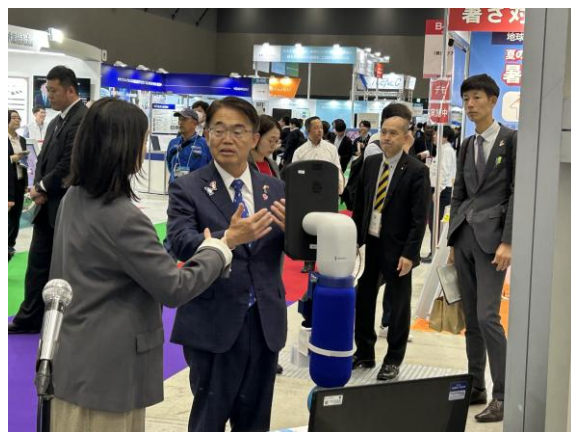
■ステージ/ブース内



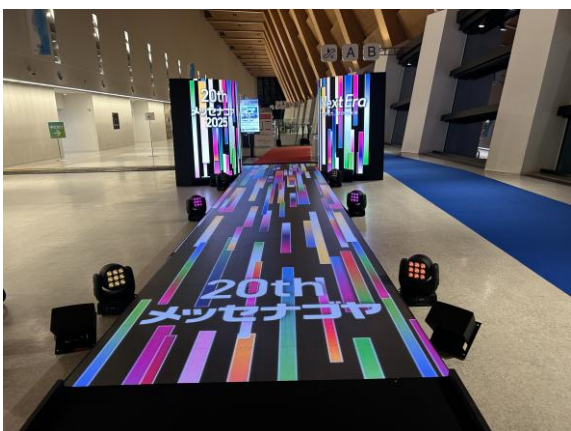
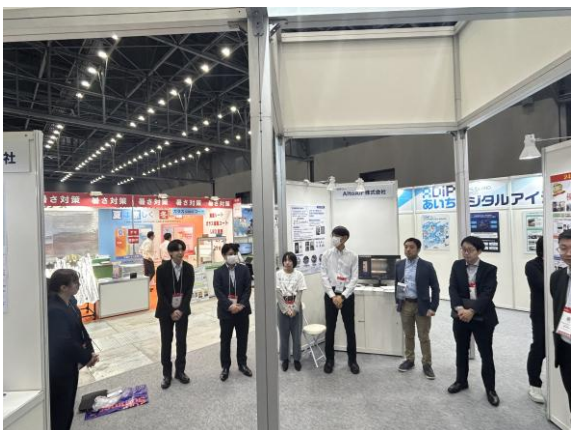
5.メッセナゴヤ2025への出展

あいちデジタルアイランドプロジェクト推進事業

■愛知県知事来訪



■その他



アンケートの実施

あいちデジタルアイランドプロジェクト(ADIP)へ

メッセナゴヤ 2025 出展企業アンケートへ

ご協力をお願い↓

このたびは、「メッセナゴヤ 2025」あいちデジタルアイランドプロジェクト(ADIP)ブースへの出展にご協力いただき、誠にありがとうございました。↓
今後の事業推進や展示企画の改善に向けて、以下のアンケートにご協力をお願いいたします。へ

【1】企業情報へ

1.→企業名:-へ

【2】出展についてへ

1.→出展の満足度↓

☐ 満足 ☐ やや満足 ☒ 普通 ☐ やや不満 ☐ 不満↓

→上記回答の理由:展示会全体のテーマが「異業種交流会」であったこともあり、明確な課題を持つ来場者は相対的に少なかった。へ

2.→名刺交換:-↓

商談件数:-へ

【3】ADIP ブースでの展示環境・運営についてへ

1.→展示スペース(台・壁面等)の広さ・使いやすさ↓

☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ 普通 ☐ やや不満 ☐ 不満↓

→上記回答の理由:標準的な広さと設備で、基本的な展示は問題なく実施できた。↓

2.→事前準備・搬入出・当日の運営サポート↓

☐ 満足 ☐ やや満足 ☒ 普通 ☐ やや不満 ☐ 不満↓

→上記回答の理由:-↓

へ

【4】自由記述へ

本事業全体へのご意見・感想など:-↓

↓

へ

ご協力ありがとうございました。↓

↓

提出期限:令和 7 年 11 月 28 日(金)へ

へ

■回答数:4社

■出展の満足度:やや満足 3件 普通 1件

■名刺交換 名刺交換総数:約111件 商談件数:約7件

■展示スペース(台・壁面等)の広さ・使いやすさ:満足2 普通2

■事前準備・搬入出・当日の運営サポート:満足2 やや満足1 普通1

■出展者コメント

○出展について

- ・ 愛知県繋がりで、新規の商談案件につながったことが大変良かったです。
- ・ 弊社“機器依存”や“ものづくりのカテゴリー”への興味ではなく、用途重視で違う業界の方々とお話しできる機会が多かったのも収穫でした。
- ・ 滞りなく展示対応できた。
- ・ 次につながる商談はあったものの、数としては期待より少なかった。
- ・ 展会全体のテーマが「異業種交流会」であったこともあり、明確な課題を持つ来場者は相対的に少なかった。

○展示スペース（台・壁面等）の広さ・使いやすさ

- ・ 広さ・使いやすさともよかったです。弊社ブースに立ち止まってくださった方と話しやすいレイアウトでした。今回のブース位置は、メイン通路沿いで人通りも多くとても良かったのですが、周辺が自動車関連企業のブースが多かったため、弊社製品としては「ものづくり」分野のブースが集まっているエリアに近い位置であれば、より立ち止まっていただける方が増えたのではないかと感じました。
- ・ 展示スペースは充分にあったが、隣接する通路との兼ね合いや動線を考えると、次の機会があれば、もう少しスペースを頂けると助かります。
- ・ ロボットを十分に動かせた。
- ・ 標準的な広さと設備で、基本的な展示は問題なく実施できた。

○事前準備・搬入出・当日の運営サポート

- ・ ブース内の弊社背景飾り布の取り付けが高所のため、脚立貸し出しを希望したのですが、急だったにも関わらずお手伝いくださり、迅速なご対応で本当に助かりました。社名板を付け直すなど、想像以上に丁寧な作業でとてもきれいに仕上がりました。
- ・ プレゼンの時、運営の方々が立ってくださっていて、とても心強かったです。
- ・ 適宜ご支援頂け、助かりました。
- ・ 滞りなく展示対応できた。
- ・ 全体としてスムーズだった

○自由記述

- ・ 展示会では、愛知県のご担当者さまや（株）パイクの皆さまなど、運営の方々が気さくにお声がけくださり、全体的にとっても雰囲気よかったです。毎朝の説明時間も設けていただき、スムーズに準備や対応を進めることができました。
- ・ あいちデジタルアイランドの宣伝として、1企業の1回のプレゼンが約20分というのは、聞くお客様側から考えると長すぎるのではと感じました。実際、ちょっと足を止めてくださる方は多くても、全部を通して聞いてくださる方は非常に少なかったです。（説明する側としては20分でも話し足りないくらいですが。）
人が話すプレゼン時間は10分くらいとし1日2回開催、その合間に複数回、各社の動画やパワポ（商品写真と文字のみ程度でもよい）を数分ずつ画面で流す方式を取るのはいかがでしょうか。展示全ブースの内容を網羅しており、もっと気軽に通りがかりの方が目にとめてくれるのではないかと、思いました。

所感

本事業における展示会出展および成果発信活動を通じ、多様な来場者があいちDIブースを訪れ、展示内容に対する積極的な関心が確認された。

来場者の属性は、県内外企業関係者、自治体関係者、学生、一般来場者等に及び、幅広い層への情報発信が実現した。

メッセナゴヤ2025では、異業種交流展示会という特性から、あいちDIを初めて知る来場者が多数来訪し、プロジェクトの概要説明に対して興味を示す様子が見られた。

来場者からは、空港島を活用した実証フィールドの取組に対し、「実環境で検証できる点が魅力的」「実装を見据えた取組である点が分かりやすい」等の評価が寄せられた。パネル展示および映像展示により、実証事業の具体的な内容を視覚的に理解できたとの反応が多く確認された。

また、ミニプレゼンテーションの実施により、短時間でそれぞれの取組みが把握できたとの意見も寄せられた。

展示ブースの3面開放型レイアウトは来場者の入りやすさを高め、回遊性向上につながったと考えられる。進行スタッフの配置やデモ時間掲示により、来場者の誘導が円滑に行われ、展示内容への理解促進が図られた。

出展企業からは名刺交換および商談発生の報告も確認され、展示会出展による接点創出の効果が一定程度認められた。
総じて、来場者反応は概ね良好であり、プロジェクトの魅力と実証内容が適切に伝達されたものと評価できる。

あいちDIにおける実証成果の具体的提示により、来場者の技術認知向上および参加意欲の醸成が確認された。

来場者の中には、従来プロジェクトの存在を認知していなかったものの、展示説明を受ける過程で取組内容への関心を高める事例が多数見られた。

特に、実証フィールドの利用可能性や参画方法に関する質問が寄せられ、参加意欲の高まりがうかがえた。
企業関係者からは、自社サービスとの親和性や技術検証の可能性について具体的な意見交換が行われる場面が確認された。

また、来場企業と出展企業の間で新たな協業可能性に関する意見交換が行われる事例も確認された。

出展企業との連携

メッセナゴヤ2025：出展者説明会の実施

実施日：10月29日（オンライン）
出席企業：9社
内容：運営マニュアルに沿って
設営・管理・撤去・イベント運営について説明



出展者の皆様へご案内

あいちデジタルアイランドプロジェクト推進事業

ご案内/注意事項

(1)集合・朝礼について
各日9:45より朝礼を行います。各社ご担当者さま(1名のみで可)、参加をお願いします。
※ステージ前で行う予定です。
10:00より開場となりますので、それまでにご準備をお願いいたします。
(8:30から入館可能です)

(2)休憩・昼食
会期中、適宜休憩をお取りいただいております。
※ブースにはどなたか1名以上常駐していただくようお願いいたします。
お弁当の支給はございません。お持ち込みいただくか、館内レストラン、キッチンカーをご利用ください。

(3)ストックスペースについて
ブース内のストックスペースは、非常に狭い為、梱包材、空き箱等のサイズの大きい荷物を置く事ができません。一度お持ち帰りいただくか、重箱等での保管をお願いいたします。
※駐車場につきましては、P.11記載の内容をご確認ください。

(4)ゴミについて
ブース内で設置・撤去時等に出たゴミはお持ち帰りください。
※飲食のゴミは会場内のゴミ箱をご利用ください。

あいちDIブース 出展者証について

(1)発行及びお渡しについて
事務局より各社3枚お送りいたします。
バスケースは会場にてお渡しいたします。

(2)入館方法
1階エントランスが出展者用の入口となります。
2階メインエントランスは来場者用の入口となります。

■業種別来場者カード一覧表 ※出展者は赤となっています

青 = 製造業	水色 = 商社・流通・物流	オレンジ = 医療・福祉・農林水産
緑 = 住宅・建設・不動産	紫 = 小売・サービス・エネルギー	黄色 = 教育機関・学生
ピンク = IT・情報通信	黄緑 = 金融・保険・証券	グレー = 官公庁・各種団体・その他

各出展における、設営・管理・撤去・各種手続きの実施

メッセナゴヤ2025、あいちロボフェス及び成果発表において
設営及び設営管理、電源管理、搬入出導線管理、緊急時対応体制整備を行った。
安全管理および円滑な運営に努め、会期中の重大トラブルは発生しなかった。

全体方針とブランディング設計

愛称「ADiP」を設定し、ロゴおよびキービジュアルを制作。
 空港島をモチーフとした統一ビジュアルにより、プロジェクトの世界観を可視化した。

ADiP AICHI DIGITAL ISLAND PROJECT

あいちデジタルアイランドプロジェクト



事前PRの実施

- ・メッセナゴヤ2025にてオンラインブースにて事前告知
- ・関係者への事前告知
- ・あいちロボフェスサイトにて事前告知

全
局
開
始

先進的なデジタル技術やサービスをご紹介します！



ADiP AICHI DIGITAL ISLAND PROJECT
あいちデジタルアイランドプロジェクト

あいちデジタルアイランドプロジェクトでは、近未来の事業やサービスを先行的に実用化することを目指し、オープンインベションを通じて実証実験や伴走支援、エリア内企業とテック企業・スタートアップのマッチング等を支援しています。ブースでは、本プロジェクトでの取組内容をご紹介します。

【対象】
全員

【実施日】
12/12(金)
12/13(土)
12/14(日)

※一部中止時間がある場合があります。

愛知県（あいちデジタルアイランドプロジェクト）

あいちロボフェスサイト

制作物① チラシ

A4両面カラー 1,500部制作。
各イベントで来場者へ入口資料として活用できるよう内容を最適化し制作。

AICHI DIGITAL ISLAND PROJECT あいちデジタルアイランドプロジェクト



これまでのあいちデジタルアイランドプロジェクトの取り組み

データ活用・行動変容

トヨタ紡織株式会社



- 中部国際空港エリアでの人流・属性データ取得による分析
- 取得したデータに基づく情報提供ロボを活用した行動誘導・満足度向上に向けた実証

KDDI株式会社



- NFCを活用したスタンプラリーの実証実験を実施し、空港島から常滑市街地への送客の効果を検証
- データを取得・分析することで、人流や消費行動の変容効果を検証

生体認証(顔認証)システム

パナソニックコネク株式会社

顔認証システムによる決済や入退管理等の
実証実験を実施
利用者側・サービス提供側の課題を検証



顔認証決済

顔認証入場

先端デジタルサービス実証パイロット事業「TECH MEETS」

TECH MEETS

企業・施設等(ニーズ企業)と先進的なデジタル技術を持つテック企業や、スタートアップ等(シーズ企業)が手を携え、近未来の事業やサービスの早期実現を目指し開発・実証実験を実施



ニーズ企業
中部国際空港等及び
近隣エリアの企業や
フィールド

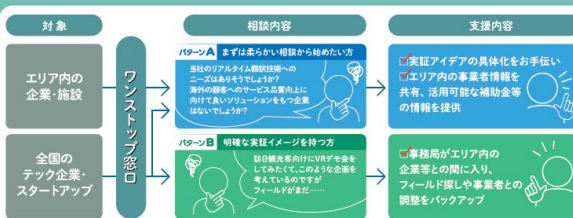


シーズ企業
先端デジタルサービ
スやプロダクトをも
つ企業



開発・実証実験
ニーズ企業の課題を解
決するプロダクトや
サービスの開発・実証

ワンストップ窓口



制作物② パネル

A1パネル5枚制作。
来場者への説明用、事業の認知度向上に寄与した。



これまでのあいちデジタルアイランドプロジェクトの取り組み ①

データ活用・行動変容

トヨタ紡織株式会社

- 中部国際空港エリアでの人流・属性データ取得による分析
- 取得したデータに基づく情報提供ロボを活用した行動誘導、満足度向上に向けた実証

KDDI株式会社

TOUCH×GO とこなめ

- NFCを活用したスタンプラリーの実証実験を実施し、空港島から常滑市街地への送客の効果を検証
- データを取得、分析することで、人混みや消費行動の変容効果を検証

デジタル空間

デジタル空間を活用した展示 KDDI株式会社

- ①3D産業機械
産業機械を実寸サイズで3D投影
- ②バーチャルファクトリー
3Dで拡大縮小できる工場 360度俯瞰できる
- ③バーチャルコンシェルジュ
目的の場所まで3Dキャラクターが案内

展示会場のデジタルツイン 株式会社NTTデータ東海

- ①臨反応予測AI
仮想空間で臨反応を再現
来場者の脳モデルを複数作成
例：会場電モビルA 予測：400名程度 実際：300名程度に達し、会場を満杯に。
- ②人流シミュレーション
会場情報や参加者情報と感性AIでシミュレーションを実行
各ブースの混雑度等を推定
- ③レコメンドWebページ
混雑度の可視化と会場者の脳モデル分類でおススメ展示ブースを案内

これまでのあいちデジタルアイランドプロジェクトの取り組み ②

生体認証システム

パナソニックコネクト株式会社

- 顔認証システムによる決済や入退管理等の実証実験を実施
- 利用者側・サービス提供者側の課題を検証

ロボット

avatarin株式会社

- ①遠隔地からのイベント参加
○Avatarロボットにより海外からの展示会への参加
- ②ユースケース拡大
○Avatarロボットによる遠隔地からの施設案内

ワンストップ窓口

対象	相談内容	支援内容
エリア内の企業・施設	パナソニック まずはあらゆる相談から始める 「あいちデジタルアイランドプロジェクト」へのニーズは何かを明確にし、具体的な課題を洗い出し、解決策を提案する。	①実証アイデアの具体化をお手伝い ②エリア内の事業者情報を収集、活用可能な補助金等の情報を提供
全国のテック企業・スタートアップ	パナソニック 明確な実証イメージを持つ 「あいちデジタルアイランドプロジェクト」の魅力を伝えるためのPR活動や、具体的な課題を洗い出し、解決策を提案する。	③事務局がエリア内の企業等との間に、フィールド探しや事業者との調整をバックアップ



これまでのあいちデジタルアイランドプロジェクトの取り組み

先端デジタルサービス実証パイロット事業「TECH MEETS」

TECH MEETS

企業・施設等（ニーズ企業）と先進的なデジタル技術を持つテック企業や、スタートアップ等（シーズ企業）が手を携え、近未来の事業やサービスの早期実現を目指し開発・実証実験を実施



TECH MEETS 2024 プロジェクト一覧

JON MALL	DXVZ	顧客の買い物体験価値の向上	Shimizu & Matsui	大型イベント会場における来場者の人流データの取得・分析による「混雑するイベント会場」の実際の安心安全をつくる
東海大学	Shimizu & Matsui	来訪者に最適化した観光案内の実現	Ephesence	快適な宿泊体験のためのスマートチェックインカウンターの実現
JR東日本	JR東日本	駅内や着陸橋のカルパ等の記録作成作業や情報連携の効率化	Koorogi	多様化社会における効率的な店舗運営と顧客への提供価値の向上
ANA	ANA	「待ち時間」のエンタメ化や効率的な運営の実現	ANA	「待ち時間」のエンタメ化や効率的な運営の実現
celbrate	Fujitsu	空港の安心安全をつくる、人手に頼らない警備システムの実現	AltoAir	航空機ハンドリング業務の省人化の実現

「TECH MEETS」プロジェクト事例
ニーズを踏まえた実証環境における実証実験を実施

ANA中部空港

拡大する航空需要に対応するため、人手不足が続くグランドハンドリング業務の省人化・省力化の仕組みを構築したい

AI to Air

エッジAIを用いた画像解析技術を提供



人手を要している手荷物管理業務の効率化に向け、AIカメラを活用し、手荷物のタグ情報及び容積をデータ化。AIによる手荷物位置の可視化及び積載効率の向上に寄与するか、全国初となる実証実験を実施。



制作物③ リーフレット

A3両面 1,000部制作。
事業概要および実証成果を詳細に掲載し、参加促進ツールとして活用した。



中部国際空港島及び周辺地域の オープンイノベーションフィールドとしての魅力



あいちデジタルアイランドプロジェクト

あいちデジタルアイランドプロジェクトでは、2030年に普及が見込まれる近未来の事業やサービスを先行的に実用化することを目指し、オープンイノベーションを通じた実証実験や伴走支援、エリア内企業とテック企業・スタートアップのマッチング等を支援。

あいちデジタルアイランドプロジェクトが目指す姿



これまでのあいちデジタルアイランドプロジェクトの取り組み

データ活用・行動変容

トヨタ紡織株式会社

・中部国際空港エリアでの人流・属性データ取得による分析
・数値化したデータに基づく情報提供口を活用した行動喚起、満足度向上に向けた実証

KDDI株式会社

・NFCを活用したスタンプラリーの実証実験を実施し、空港島から空港市街地への送客の効果を検証
・データを取扱、分析することで、人流や消費行動の変容効果を検証

生体認証(顔認証)システム

パナソニックコネクティ株式会社

顔認証システムによる決済や入退管理等の実証実験を実施
利用者側・サービス提供側の課題を検証



先端デジタルサービス実装パイロット事業「TECH MEETS」

TECH MEETS

企業・施設等(ニーズ企業)と先進的なデジタル技術を持つテック企業や、スタートアップ等(シーズ企業)が手を携え、近未来の事業やサービスの早期実現を目指す開発・実証実験を実施

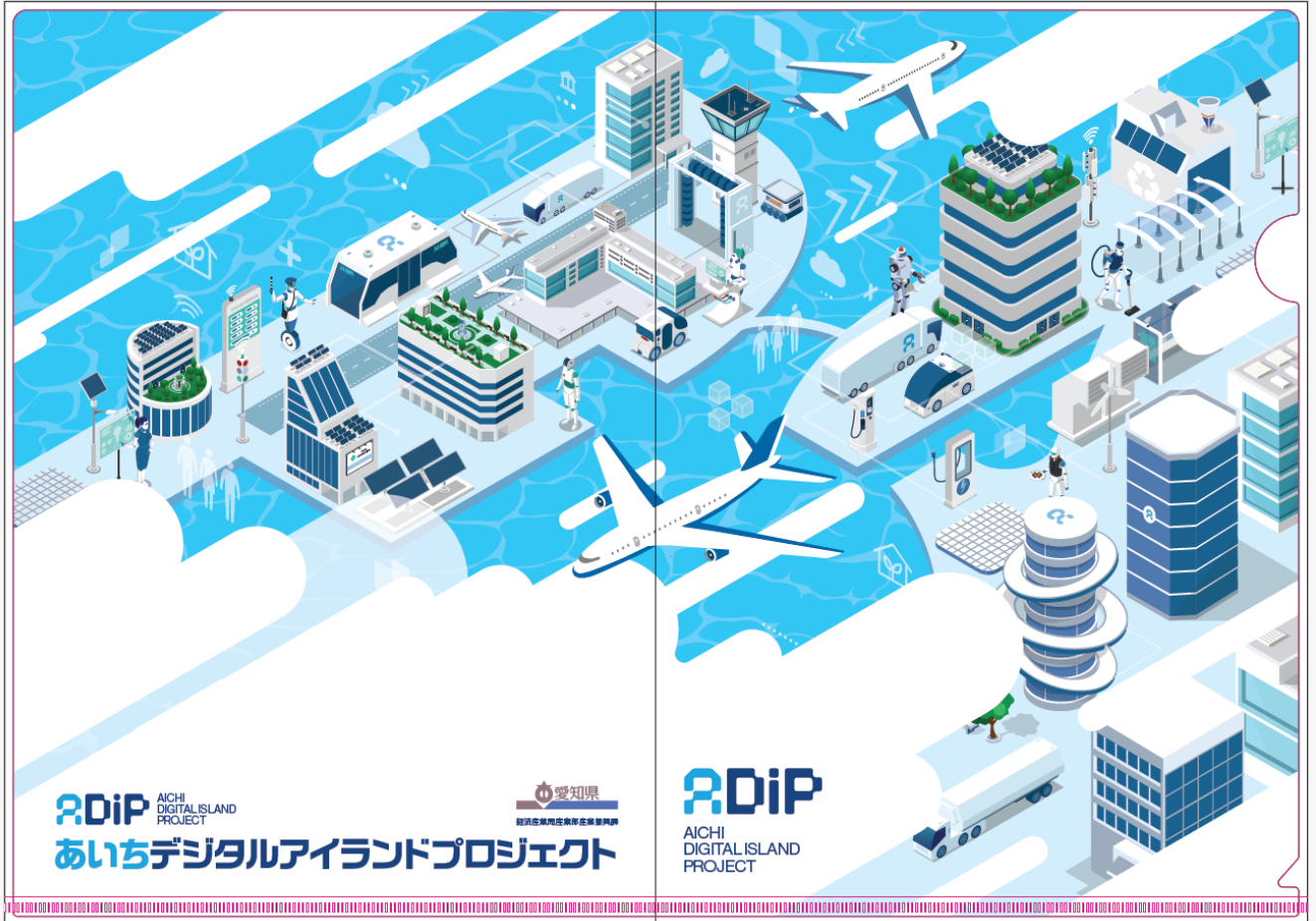


ワンストップ窓口



制作物④ノベルティ

クリアファイル1,000個制作
各イベントでチラシなどを入れて配布



本事業の総合評価

本事業は、展示会出展および成果発信活動を通じ、あいちDIにおける実証成果を多様な来場者に対して分かりやすく提示することができた。

その結果、プロジェクトの認知度向上、関心喚起、ビジネス接点創出の各側面において一定の成果が確認された。

来場者反応は概ね良好であり、展示内容の理解促進およびプロジェクトの独自性・先進性の伝達が図られた。

また、具体的な実証事例を提示したことで、概念的理解に留まらない実装段階のプロジェクトとしての認識が浸透したと考えられる。

企業からも、連携可能性に関する意見交換が確認され、展示会出展の有効性が示された。

PR制作物の制作・配布により、統一したブランドイメージの形成と継続的な情報発信基盤の整備が図られた。

一方で、異業種交流型展示会では明確な課題を持つ来場者が相対的に少ないとの指摘もあり、今後の展示内容設計における改善余地が確認された。

しかしながら、総合的には本事業は実証成果発信の場として有効に機能したと評価できる。

あいちDI推進への貢献

本事業は、あいちDIの価値および可能性を広く共有する機会を創出し、プロジェクト推進に資する基盤形成に寄与した。

特に、プロジェクトを知らなかった来場者が興味関心を持ち、具体的な実証内容を理解したことで、参画検討や連携検討へとつながる対話が生まれた点は重要な成果である。

展示会出展により、新規企業との接点創出が図られ、将来的な参画候補の拡大につながった。

また、次世代層への認知拡大により、長期的なプロジェクト推進基盤の形成にも寄与したと考えられる。

PR制作物およびブランド統一により、あいちDIの情報発信力が強化され、継続的な認知拡大の基盤が整備された。

成果発表イベントでは、関係者間での理解共有が進み、プロジェクトの一体的推進に資する効果が得られた。

以上より、本事業はあいちDIの認知拡大、参画促進、連携創出、ブランド形成の各側面において、プロジェクト推進に資する重要な役割を果たしたものと評価できる。